



北恵株式会社

2021年11月期第2四半期決算説明資料

2021年8月11日

証券コード：9872

東証1部

<https://www.kitakei.jp/>

〔1〕 2021年11月期 第2四半期決算 概要

[1] 2021年11月期 第2四半期決算 概要

■ 損益計算書

(金額単位:百万円)

2020年11月期
第2四半期

2021年11月期
第2四半期

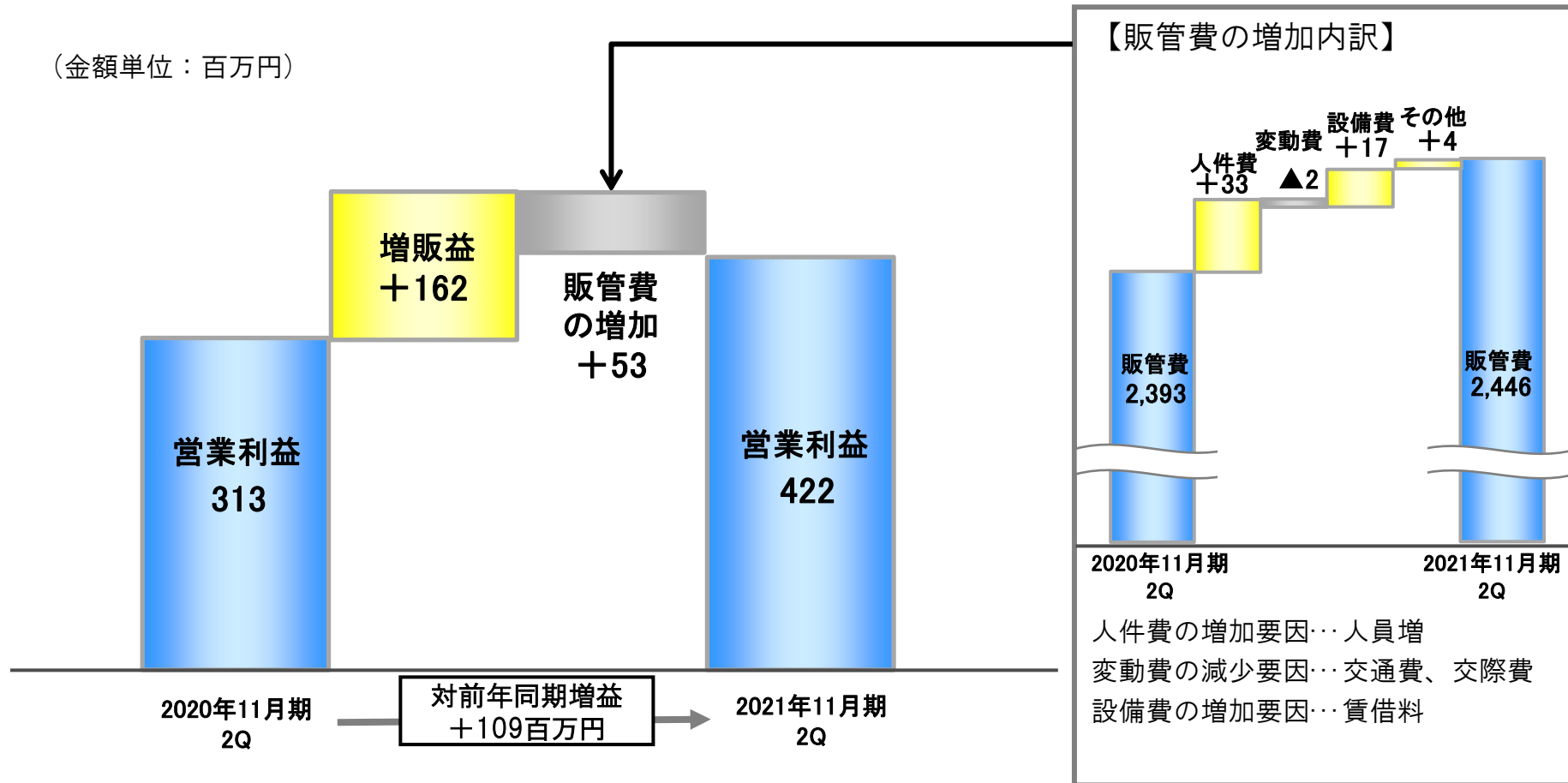
	金額	売上高 構成比	金額	売上高 構成比	前年 同期比	計画比
売上高	26,935	100.0%	27,841	100.0%	+3.4%	△ 0.6%
売上総利益	2,706	10.0%	2,869	10.3%	+6.0%	+1.9%
販管費	2,393	8.9%	2,446	8.8%	+2.2%	△ 1.5%
営業利益	313	1.2%	422	1.5%	+34.9%	+28.0%
経常利益	377	1.4%	473	1.7%	+25.4%	+23.6%
親会社株主に帰属する 四半期純利益	310	1.2%	304	1.1%	△ 2.2%	+32.2%

(注) 計画比は、2021年4月6日に公表した2021年11月期2四半期業績予想数値（売上総利益ならびに販管費については前述発表時における期初計画値）との計画対比です。

[1] 2021年11月期 第2四半期決算 概要

■ 営業利益分析

(金額単位：百万円)



〔1〕 2021年11月期 第2四半期決算 概要

■ 商品別売上高

(金額単位:百万円)

 2020年11月期
第2四半期

 2021年11月期
第2四半期

	売上高	売上高 構成比	売上高	売上高 構成比	前年 同期比	[ご参考] 主要商品
木質建材	3,394	12.6%	3,693	13.3%	+8.8%	ユニットドア、クローゼット、フロア、収納ユニット、階段セット
非木質建材	2,267	8.4%	2,252	8.1%	△ 0.7%	石膏ボード、断熱材、屋根材、不燃ボード、サイディング
合板	1,019	3.8%	1,065	3.8%	+4.6%	ラワン合板、針葉樹合板
木材製品	1,358	5.0%	1,317	4.7%	△ 3.1%	木材構造材、木材造作材、フローリング
住宅設備機器	6,237	23.2%	6,803	24.4%	+9.1%	システムキッチン、ユニットバス、洗面ユニット、トイレ、空調機器、 燃焼機器、太陽光発電パネル
施工付販売 (メカ-施工)	610	2.3%	533	1.9%	△ 12.6%	外壁工事、住設工事、屋根工事、構造躯体工事、内装工事、 サッシ工事、太陽光発電システム
その他	2,233	8.3%	2,243	8.1%	+0.4%	サッシ、エクステリア、化成品、建築金物、建築道具
商品販売	17,121	63.6%	17,908	64.3%	+4.6%	
施工付販売 (完成工事高)	9,814	36.4%	9,932	35.7%	+1.2%	外壁工事、住設工事、屋根工事、構造躯体工事、内装工事、 サッシ工事、太陽光発電システム
合計	26,935	100.0%	27,841	100.0%	+3.4%	
オリジナル商品	1,069	4.0%	1,026	3.7%	△ 4.0%	軒天破風一体型板金、フローリング、換気システム

【主な動き】

重点商品である住宅設備機器と施工付販売（完成工事高）が堅調に推移したことにより売上高は増加した。

- 住宅設備機器の増加要因
特に近畿地区でCOVID-19の影響により延期となっていた新築住宅及びリフォーム案件が、今期に再開されたことによる。
- 施工付販売（完成工事高）の増加要因
一部取引先に対して材料販売のみに移行したことに伴い外壁工事は減少したが、住設工事等が伸びた。

(注) 1. 施工付販売は、仕入メーカーの責任施工により行っている工事（＝メカ-施工）と当社の手配による下請工事業者により行っている工事（＝完成工事高）に分割して記載しております。

2. オリジナル商品の販売実績は主に、木質建材、木材製品、住宅設備機器、その他に含まれております。

[1] 2021年11月期 第2四半期決算 概要

■ 貸借対照表

(金額単位:百万円)

	2020年 11月期	2021年11月期 第2四半期	前期末比
	金額	金額	
流動資産	21,551	21,605	±0.0%
現金及び預金	10,355	10,227	±0.0%
※1 受取手形及び売掛金・電子記録債権	9,731	9,846	+1.2%
※2 商品・未成工事支出金	1,454	1,291	△ 11.2%
固定資産	3,916	3,714	△ 5.2%
有形固定資産	1,756	1,736	±0.0%
無形固定資産	62	59	±0.0%
投資その他の資産	2,097	1,917	±0.0%
資産合計	25,467	25,319	△ 0.6%
負債の部	13,512	13,278	△ 1.7%
流動負債	12,467	12,249	±0.0%
※3 支払手形及び買掛金・電子記録債務	11,341	11,186	△ 1.4%
固定負債	1,045	1,029	±0.0%
純資産の部	11,954	12,041	+0.7%
株主資本	11,854	11,926	±0.0%
その他の包括利益累計額	99	114	±0.0%
負債・純資産合計	25,467	25,319	△ 0.6%
有利子負債	0	0	-
自己資本比率(%)	46.9%	47.6%	0.7%
売上債権回転日数(日)	68.0日	63.6日	△ 4.4日
棚卸資産回転日数(日)	9.9日	8.9日	△ 1.0日
買入債務回転日数(日)	77.5日	73.2日	△ 4.3日

【主な動き】 (前連結会計年度末比)

- 資産…1億47百万円の減少
 - ・現金及び預金の減少1億27百万円
 - ・受取手形及び売掛金の減少3億42百万円
 - ・その他(流動資産)の増加4億82百万円
- 負債…2億34百万円の減少
 - ・支払手形及び買掛金の減少4億51百万円
 - ・電子記録債務の増加2億96百万円
- 純資産…86百万円の増加
 - ・利益剰余金の増加72百万円

$$\text{売上債権}(\times 1)\text{回転日数} = \frac{\text{期初売上債権} + \text{期末売上債権}}{2} \div \frac{\text{累計期間売上高}}{\text{期中日数} \times 4}$$

$$\text{棚卸資産}(\times 2)\text{回転日数} = \frac{\text{期初棚卸資産} + \text{期末棚卸資産}}{2} \div \frac{\text{累計期間売上高}}{\text{期中日数} \times 4}$$

$$\text{買入債務}(\times 3)\text{回転日数} = \frac{\text{期初買入債務} + \text{期末買入債務}}{2} \div \frac{\text{累計期間売上高}}{\text{期中日数} \times 4}$$

※4 期中日数:2020年11月期=366日
2021年11月期2Q=181日

[1] 2021年11月期 第2四半期決算 概要

■ キャッシュフロー計算書

(金額単位:百万円)

	2020年11月期 第2四半期	2021年11月期 第2四半期	前年同期比
	金額	金額	
営業活動による キャッシュ・フロー	212	144	△ 32.1%
投資活動による キャッシュ・フロー	△ 42	△ 40	△ 4.3%
財務活動による キャッシュ・フロー	△ 203	△ 230	△ 13.6%
現金及び現金同等物 の増減額	△ 33	△ 127	△ 282.4%
現金及び現金同等物 の期首残高	9,847	10,355	+5.2%
現金及び現金同等物 の四半期末残高	9,813	10,227	+4.2%
(ご参考) 手元流動性比率(カ月)	2.3	2.2	

【主な動き】 (前年同期比)

- 営業活動によるC/F
〔増加要因〕
税金等調整前四半期純利益4億73百万円
たな卸資産の減少額1億62百万円
〔減少要因〕
法人税等の支払額2億20百万円
仕入債務の増加額1億55百万円
売上債権の増加額1億13百万円
- 投資活動によるC/F
〔主な要因〕
有形固定資産の取得による支出
32百万円
- 財務活動によるC/F
〔主な要因〕
配当金の支払額2億30百万円

〔2〕 2021年11月期 当社戦略と見通し

〔2〕 2021年11月期 当社戦略と見通し

■ 外部環境に関する当社の見方

2021年11月期第2四半期 新設住宅着工戸数

(単位:千戸)

	総数	持家+分譲一戸建			マンション	貸家
		持家	分譲一戸建			
2019年12月 ~2020年5月	399	122	67	190	54	150
2020年12月 ~2021年5月	401	130	66	197	52	147
前年 同期比	+0.4%	+6.2%	△ 1.7%	+3.4%	△ 4.2%	△ 1.6%

2020年12月
~2021年5月

	総数	前年 同期比	持家+分譲一戸建	
			前年 同期比	
近畿	64	△ 0.2%	27	+7.1%
九州・中四国	74	+0.4%	38	+4.4%
中部	48	△ 4.1%	28	△ 1.3%
東日本	213	+1.7%	102	+3.4%
内、首都圏	141	+1.7%	55	+2.9%
合計	401	+0.4%	197	+3.4%

【当社の見方】

- 当社2Q決算期間における新設住宅着工戸数は、近畿と中部では減少したが、九州・中四国と東日本では増加し、前期比0.4%増。
- 当社の主たる市場である持家及び分譲一戸建住宅の合計は前期比3.4%増。
- 国内景気は、政府による経済政策などが実施されつつあるものの、COVID-19の拡大に伴う先行き不透明な状況は解消されにくいと考えられる。
- 住宅関連業界は、在宅勤務の普及に伴う住環境改善ニーズもあり新設住宅着工戸数はやや持ち直しの傾向が見られるが、ウッドショックの影響により、先行きに懸念が広がる状況で推移。

(注) 「建築着工統計調査」(総務省統計局)に基づき、当社決算期間及び当社地域区分にて集計しております。

〔2〕 2021年11月期 当社戦略と見通し

■ 外部環境に関する当社の見方

新型コロナウイルス感染症（COVID-19）による業界への影響と、業界の動きや対応

COVID-19による業界への影響	業界の動きや対応
<ul style="list-style-type: none"> ● 木材の供給不足（ウッドショック）や商品の原材料高騰等の動き。 ● 施工現場（特に内装工事）での三密回避等に伴う工期の延長・遅延。 ● イベント中止や消費者の慎重な動き等、住宅展示場見学における様々な制約が発生し、新規営業が抑制されがち。 ● 感染拡大防止に配慮した営業活動や社員の働き方が必須。 ● 新設住宅着工戸数全体では、当面の間は、近年に比べ減少で推移するものと予想。 	<ul style="list-style-type: none"> ● 工期遅延や受注採算の悪化の動き等が見られる。 ● 製品単価の値上げ等、採算確保への取り組みが見られる。 ● 消費者がネットで見学体験できる、バーチャル展示場の活用等の動きが見られる。 ● ウェブ会議を利用した営業活動による対面営業補完や、社員のテレワーク・時差出勤等に取り組んでいる。 ● テレワークの拡大等から、分譲一戸建住宅が見直されつつある。

〔2〕 2021年11月期 当社戦略と見通し

■ 外部環境に関する当社の見方

ウッドショックの原因と業界への影響、業界の動きや対応

ウッドショックの原因と 業界への影響	業界の動きや対応
<ul style="list-style-type: none"> ● コロナ禍に伴うテレワークの拡大や低金利政策が相まった米国で、郊外での戸建需要やDIYブームの拡大による木材需要の高まりに伴い、価格が高騰化。また、COVID-19の影響からいち早く立ち直った中国でも木材需要が高まっていた。 ● 日本は輸入木材の割合が高いが、上記理由から入手が困難な状況。国産材への切替も含めた対応を取ってはいるが、仕入コストの上昇は否めない。 	<ul style="list-style-type: none"> ● 木材製品の仕入先との信頼関係に基づく安定的な購買により、調達ルートを確認。 ● 国内林業者による生産数量の増加と住宅会社等による国産材の新たな仕入ルートの開拓 ● 新築だけではなく、水廻りや外壁等を含めた、リフォーム・リノベーション需要への対応。 ● 木材製品の需要の影響を受けにくい事業分野への参入。

〔2〕 2021年11月期 当社戦略と見通し

■ 外部環境に関する当社の見方

社会における当社の役割と、当社の「社会的責任」への取り組み

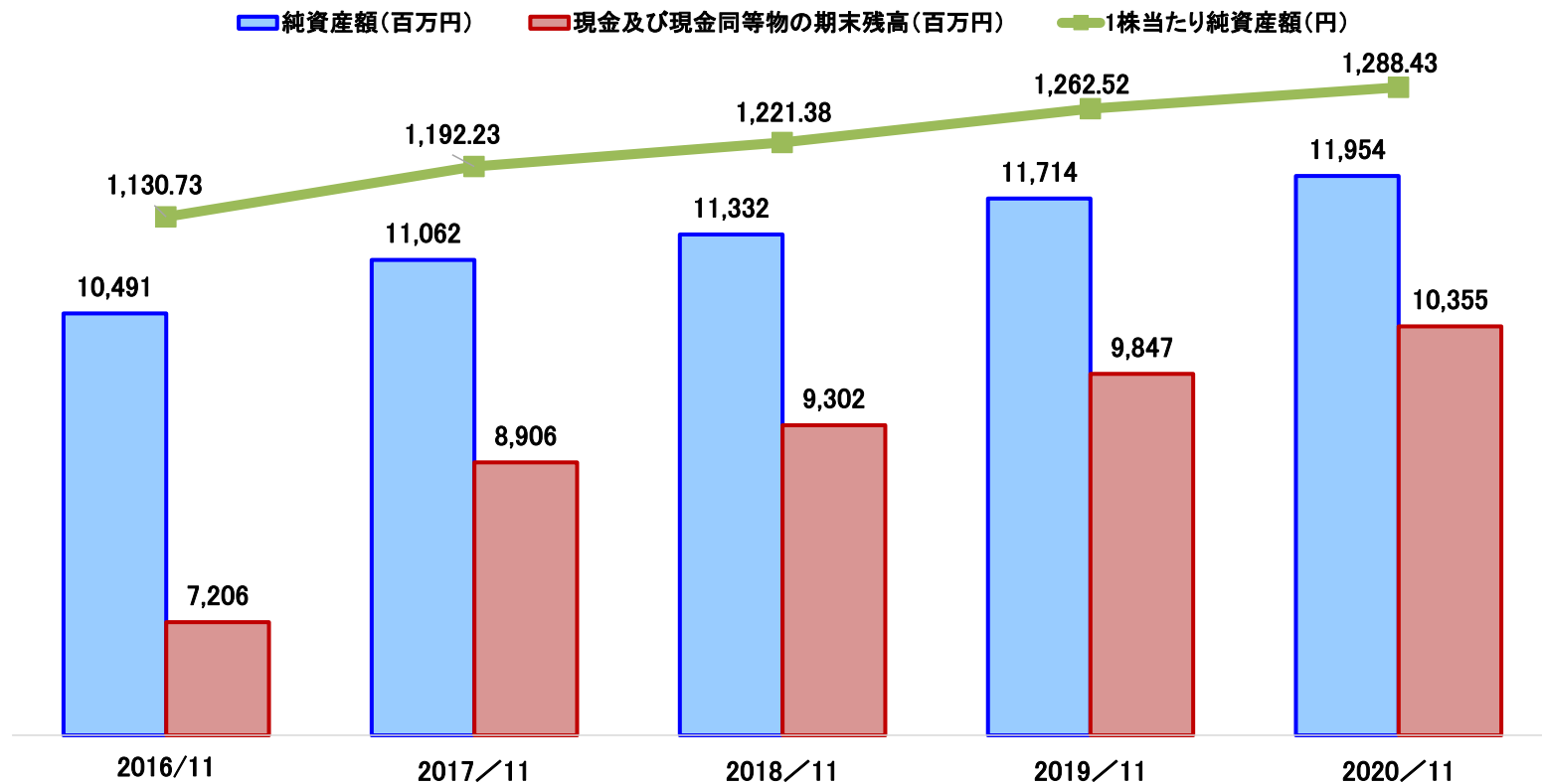
社会における当社の役割	当社の「社会的責任」への取り組み
<ul style="list-style-type: none"> ● お取引先様やユーザーの皆様との信頼関係を築いてきたことが自社の強みと認識し、今後も住まいのトータルサプライヤーとしての存在価値を一層高めることにより、全てのステークホルダーの皆様により一層信頼され、社会に貢献できる企業を目指す。 ● 住まいのトータルサプライヤーとしての事業活動を通じ、SDGs等、さらなる社会貢献に取り組む。 	<ul style="list-style-type: none"> ● 1990年代から、計画植林材を使用したオリジナル商品の開発・販売に取り組んでいる。 [期待される効果] CO2削減への貢献 ● 現場での廃材処理が不要な商品や、工期の短縮化を図る商品の開発・販売を行っている。 [期待される効果] CO2削減への貢献

〔2〕 2021年11月期 当社戦略と見通し

■ 純資産額、現金及び現金同等物の期末残高、1株当たり純資産の推移

当社の財務内容は安定的に推移しております。

純資産額、現金及び現金同等物の期末残高、1株当たり純資産



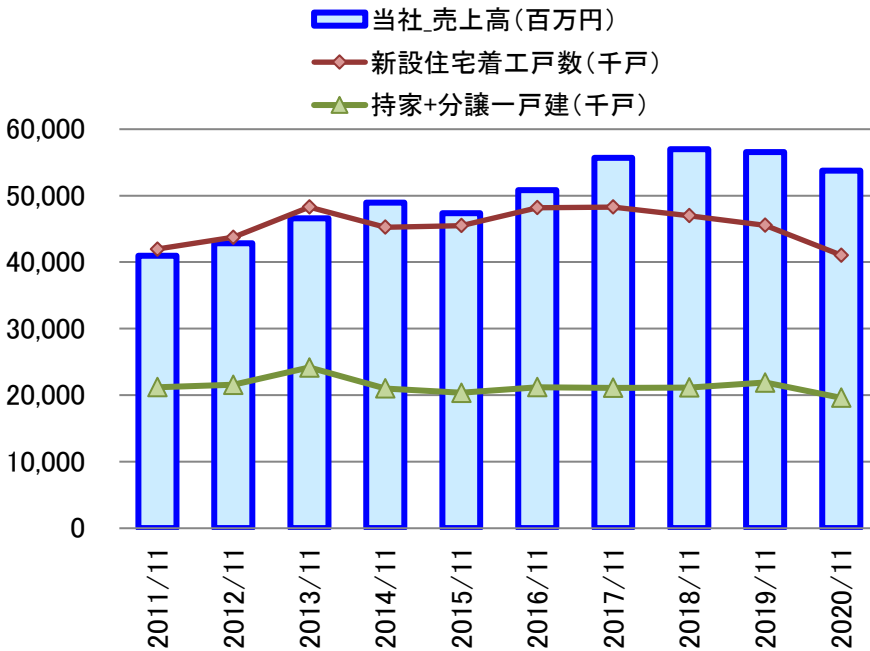
[2] 2021年11月期 当社戦略と見通し

■ 新設住宅着工戸数・当社売上高推移

新設住宅着工戸数の推移は当社の売上高に影響を及ぼすと認識しております。

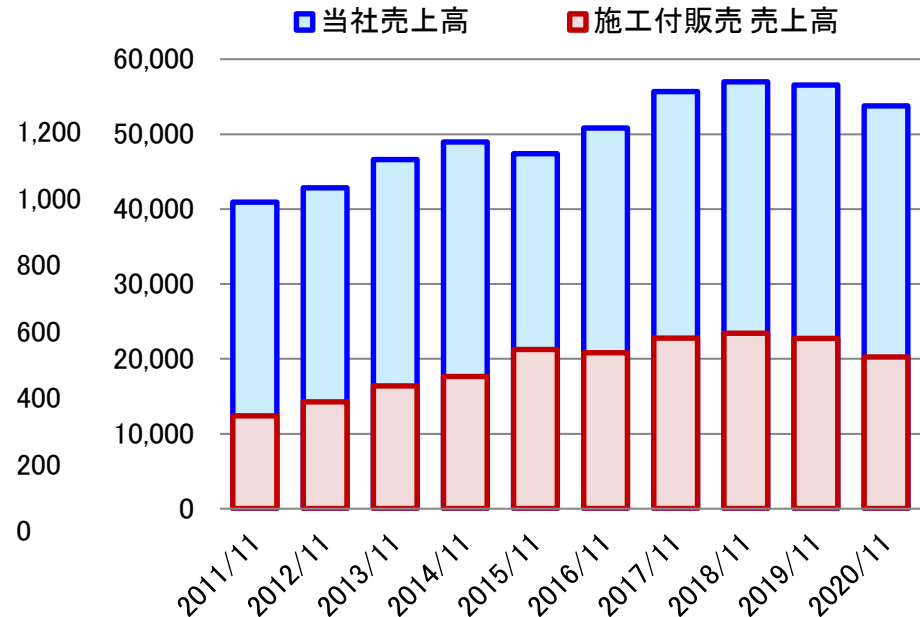
当社の売上高を牽引する最大の柱は、20年以上前から取り組み、長年の蓄積と信頼を得ている施工付販売です。

新設住宅着工戸数、当社売上高 推移



(注) 「建築着工統計調査」(総務省統計局)に基づき、当社決算期間(12月~11月)にて集計しております。

当社売上高及び施工付販売売上高推移



(注) 施工付販売売上高は仕入メーカーの責任施工により行っている工事(=メカ-施工)と当社の手配による下請工事業者により行っている工事(=完成工事高)を合算しています。

〔2〕 2021年11月期 当社戦略と見通し

■ 今期の取り組み

■ 戦略的方向性

- 既存取引先との関係強化を軸として、ビルダー、住宅メーカー、リフォーム・リノベーション専門店、ホームセンターなどの新規取引先の開拓。
- 工事機能のさらなる充実により、外壁工事・住設工事などの工事売上の拡大や非住宅市場の開拓の推進。
- 環境・省エネをテーマとした太陽光発電システムや蓄電池などの住宅設備機器の拡販。
- オリジナル商品の開発及び販売強化。
- デジタル化の推進。
- S D G s など事業活動を通じたさらなる社会貢献。

〔2〕 2021年11月期 当社戦略と見通し

■ 業績見通し

(金額単位:百万円)

	2021年11月期				
	第2四半期(実績)			通期(計画)	
	(百万円)	前年 同期比	計画比	(百万円)	前期比
売上高	27,841	+3.4%	△ 0.6%	56,000	+4.2%
売上総利益	2,869	+6.0%	+1.9%	5,700	+5.2%
販管費	2,446	+2.2%	△ 1.5%	5,070	+3.7%
営業利益	422	+34.9%	+28.0%	630	+19.9%
経常利益	473	+25.4%	+23.6%	744	+14.2%
親会社株主に帰属する 当期(四半期)純利益	304	△ 2.2%	+32.2%	446	△ 32.3%

(注) 計画比は、2021年4月6日に発表した2021年11月期第2四半期及び通期業績予想数値(売上総利益ならびに販管費については前述発表時における期初計画値)との計画対比です。

〔3〕 株主還元について

〔3〕株主還元について

■ 配当の基本方針

当社は、株主各位に対する利益還元を経営の重要課題の一つとして位置付け、安定した配当を継続しつつ、当社を取り巻く経営環境及び財務状況等を勘案の上、業績に応じた利益還元を行っていくことを基本方針としております。配当額につきましては、当面の間、一株当たり年間14円を下限とした上で、連結配当性向35%を目途といたします。なお、非経常的な要因により、親会社株主に帰属する当期純利益が変動する場合等においては、その影響を考慮し配当額を決定してまいります。

■ 2021年11月期について

決算年月	2016年	2017年	2018年	2019年	2020年	予想
	11月期	11月期	11月期	11月期	11月期	2021年 11月期
1株当たり 当期純利益金額 (円)	45.15	58.50	58.71	61.41	70.98	48.07
1株当たり 配当額 (円)	14.00	20.00	23.00	22.00	25.00	17.00
配当性向(連結) (%)	31.0%	34.2%	39.2%	35.8%	35.2%	35.4%

(注) 2018年11月期の1株当たり配当額には、東京証券取引所市場第一部銘柄指定記念配当2.00円が含まれております。

〔3〕 株主還元について

■ 株主優待

毎年11月20日(期末時)に、1 単元(100株)以上保有されている株主様を対象に、ご所有の株式数に応じて、以下のご優待を行っております。

1,000株以上



郵便局の選べるギフト
「鳥」※

500株以上1,000株未満



QUOカード
(1,000円分)

100株以上500株未満



QUOカード
(500円分)

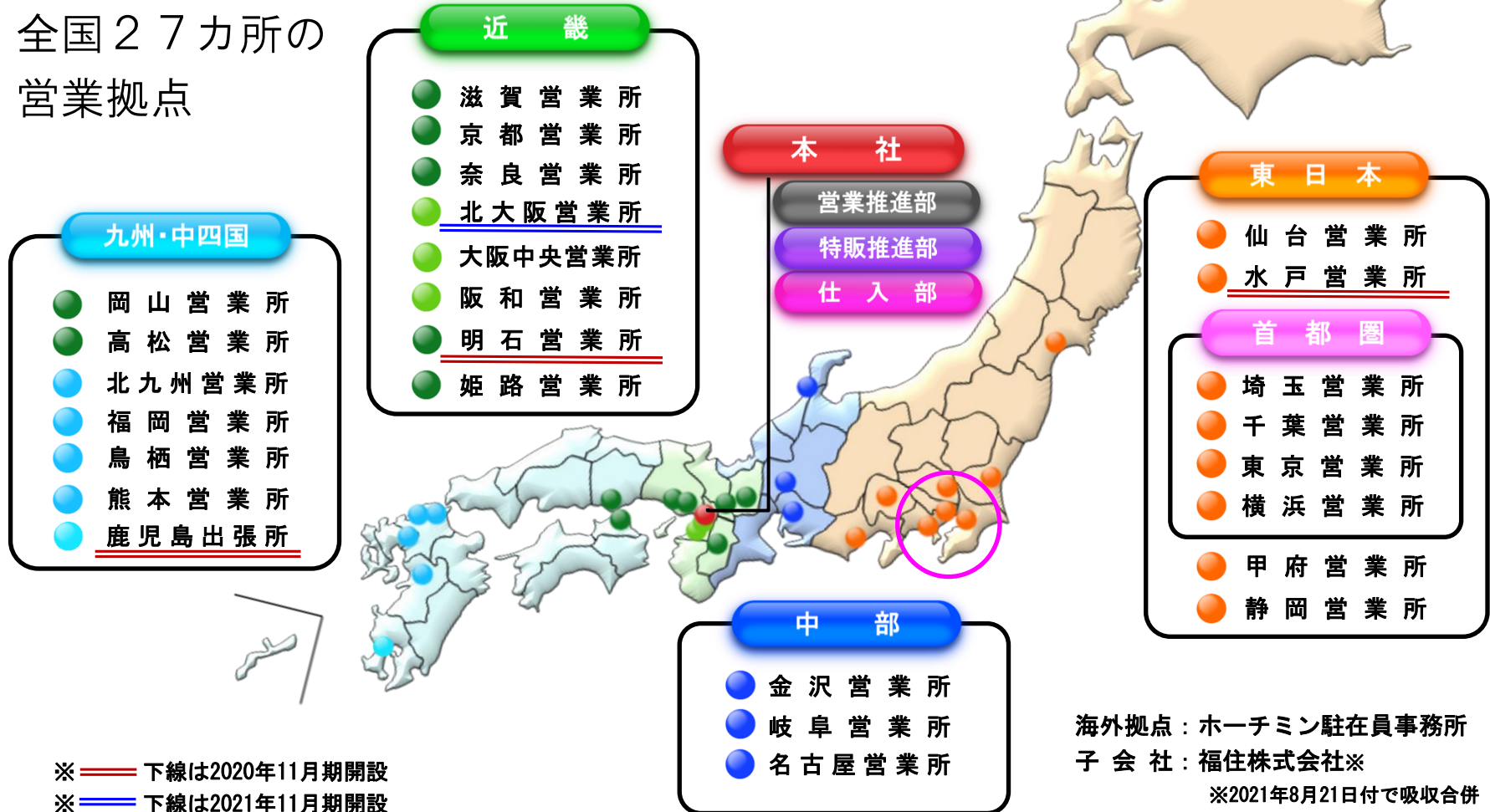
※ 3,000円相当の商品をカタログより
お選びいただけます。
※ 優待画像はイメージです

ご参考資料

(ご参考)

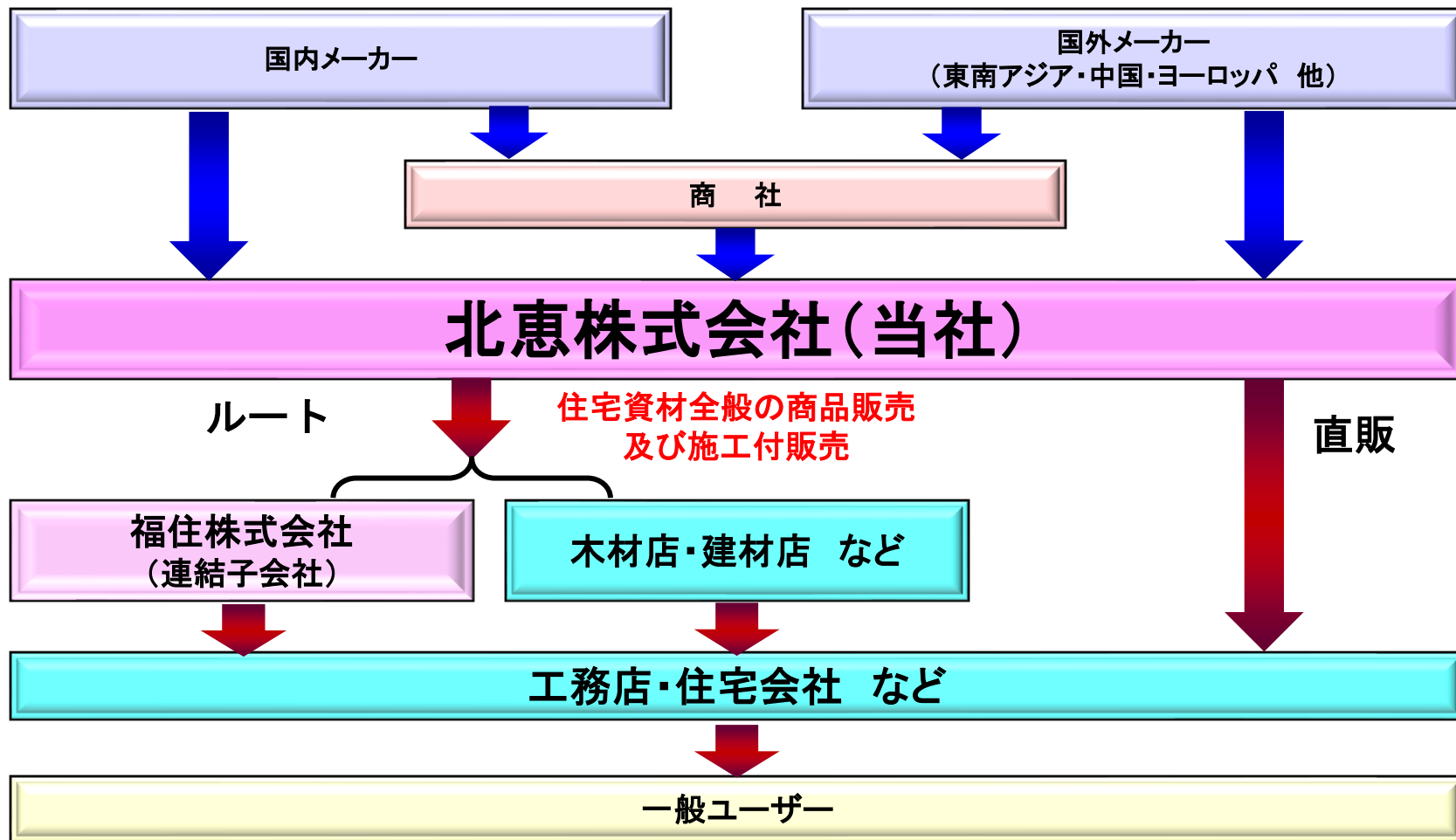
■ 事業所ネットワーク

全国27カ所の
営業拠点



(ご参考)

■ 販売チャネル



住宅資材全般の商品販売
及び施工付販売

ルート

直販

福住株式会社
(連結子会社)

木材店・建材店 など

工務店・住宅会社 など

一般ユーザー

(ご参考)

■ 重点商品

住宅設備
機器

お施主様が特に重視される
キッチンやバスを、取扱メー
カーの中から自由に組み合わ
せることが可能



施工付
販売

【完成工事高の特徴】

- ・ 当社独自の外壁工事瑕疵
10年保証
- ・ 協力業者約1,300社の
ネットワークを生かした
全国規模の工事体制

オリジナル
商品

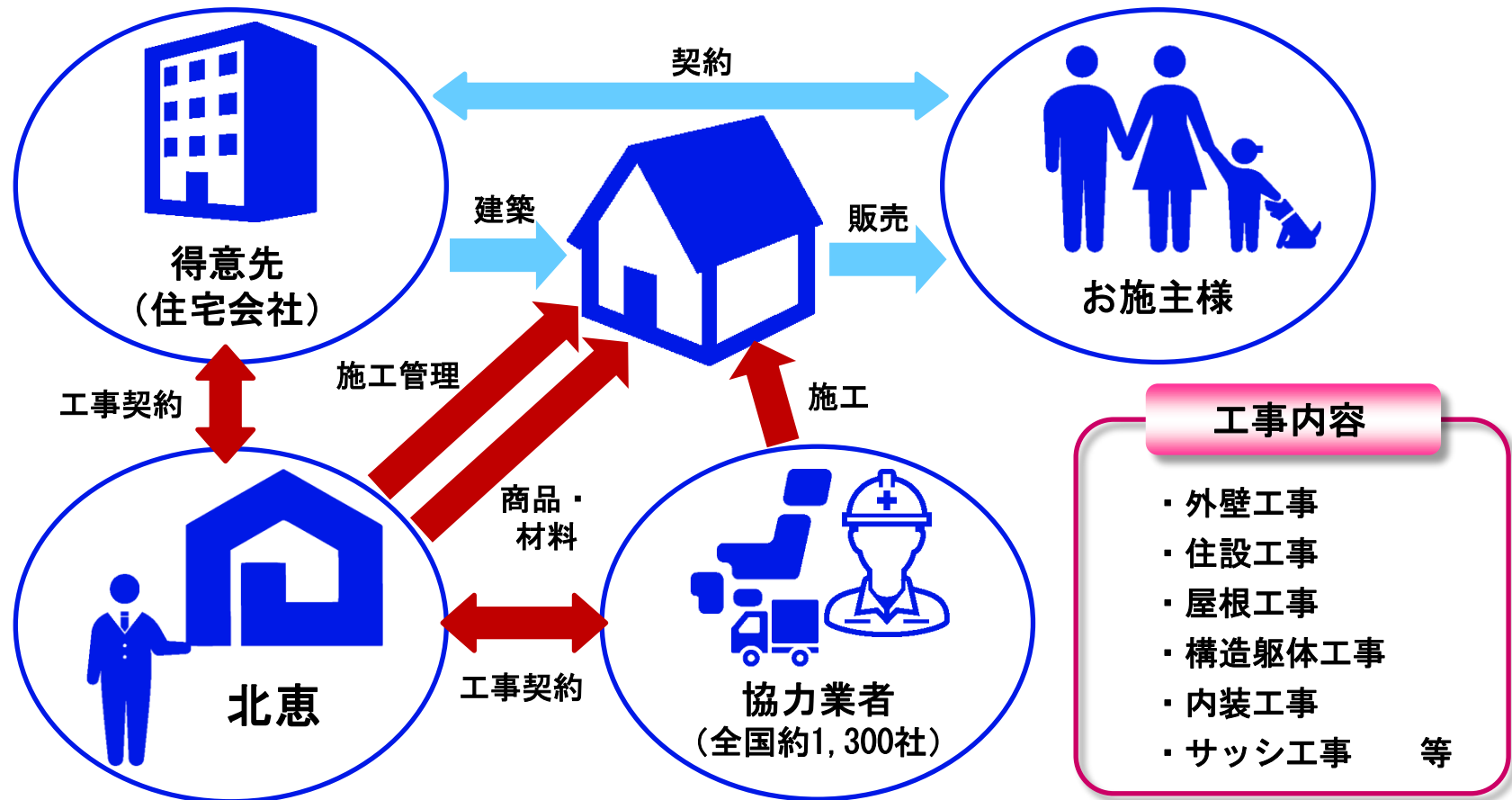
日々の暮らしをサポートする機能性と、個性を両立した
オリジナル商品の開発・販売

 relaxssing wood

 **SPROUT**
UNIVERSAL SERIES

(ご参考)

■ 施工付販売（完成工事高）の流れ



工事内容

- ・ 外壁工事
- ・ 住設工事
- ・ 屋根工事
- ・ 構造躯体工事
- ・ 内装工事
- ・ サッシ工事 等

■ お問い合わせ先等

本資料の内容に関するお問い合わせにつきましては、下記までお願い申し上げます。

経営企画部 TEL 06-6251-1161（代表）

本資料には、当社の業績見通し等の将来に関する記述が含まれておりますが、これらは、本資料作成時点において当社が入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づくものであり、実際の業績等につきましては、今後様々な要因により、大きく異なる可能性があります。